序の舞（1984）

メディア 映画
ジャンル ドラマ　文芸
製作国 日本
色彩 Color
時間 145分
初公開日 1984/01/14
公開情報 東映

【解説】
実在の日本画家である上村松園の生涯を描いた宮尾登美子の同名小説を、松田寛夫が脚色し中島貞夫が監督したドラマ。幼いころに父を亡くした津也は絵画に強い興味を示し、小学校卒業と同時に松溪画塾へ通うことになった。自分の作品が博覧会で一等となった津也は、師匠の松溪から松翠という雅号を授かり、天才少女と騒がれるようになる。同じ塾に通う村上徳二という青年に好意を抱く津也だったが、料亭で松溪に抱かれ、彼の子供を授かった。津也の母である勢以はそのことを知り、娘を激しく責め、絵を禁じてしまう。見知らぬ土地で子供を産んだ津也は、徳二を頼って東京へ行くが、かつて図画を教えてくれた恩師の西内と再会。徳二のもとを離れ、再び絵の道へ進むことを決意したのだった。

【クレジット】
監督 中島貞夫
製作 日下部五朗
奈村協
原作 宮尾登美子
脚本 松田寛夫
撮影 森田富士郎
美術 井川徳道
佐野義和
編集 市田勇
音楽 黛敏郎　Toshiro Mayuzumi
助監督 清水彰
出演 名取裕子
風間杜夫
岡田茉莉子
佐藤慶
三田村邦彦
高峰三枝子
水沢アキ
三田佳子

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.